

「日医標準レセプトソフト」(以下、本システム)のバージョン5.1.0(平成30年12月リリース)以降を対象としたオフラインメンテナンスについて説明します。

1 オフラインメンテナンス

本システムは、原則としてインターネット接続環境での使用を前提としています。ただし、ユーザの都合や地域的な環境の問題のため非接続環境での使用も考慮する必要があります。運用にあたっては、随時マスタのメンテナンスやシステムのメンテナンスが発生しますので、非接続環境におけるメンテナンスの方法について説明します。

2 オフラインメンテナンスで必要なもの

オフラインメンテナンスを行う上で必要なものは以下となります。

- ・システムをアップグレード(インストール)するための本システム関係の deb パッケージファイル
- ・システムをアップグレード(インストール)するための Ubuntu Official パッケージファイル
- ・システムをアップグレード(インストール)するために必要なデータベースの構造変更等処理を行う更新データファイル
- ・マスタをメンテナンスするためのマスタ更新データファイル
- ・deb パッケージよりアップグレード(インストール)されたプログラムに対し修正を施したプログラムで置換えをするためのプログラム更新データファイル
- ・地方公費及び公開帳票のプラグインパッケージファイル(ver5.0.0以降)

これらのプログラム及びデータファイルを CD-ROM 等のメディアに記録しメンテナンスを行うデータソースとします。

オフラインメンテナンスのために作成するデータソースは、

Ubuntu Official パッケージ メディアにより複数枚

本システム関係 CD-ROM 1枚

となります。

(注意)本説明書では、Ubuntu Official パッケージについては説明を割愛します。

3 オフラインメンテナンスデータソース作成(本システム関係)

本システムをメンテナンスするためのデータソース作成について、CD-ROM 等のメディアに記録を行うことを前提に説明を行います。

オフラインメンテナンス説明書

(1) アクセスキーファイルの取得

医療機関専用サイトへログインします。

<https://orcaid.orca.med.or.jp/minst/signin>



医療機関専用サイト:ログイン ×

← → ↻ 🏠 🔒 https://orcaid.orca.med.or.jp/minst/signin ... ☆ 🌐 📄 ☰

医療機関専用サイト

医療機関 ID システム

医療機関専用サイト

IDとパスワードを入力してください。

ユーザID 

パスワード 

[ログイン](#)

Copyright © Japan Medical Association. All rights reserved.

オフラインメンテナンス説明書

医療機関専用サイト:アクセスキー確認 - Mozilla Firefox

医療機関専用サイト:アクセス= × +

医療機関専用サイト 医療機関情報編集 アクセスキー アンケート ヘルプ JPN

アクセスキー確認

✓ アクセスキーを作成しました

アクセスキー d28133a23b92de946f 5e1919de7b

発行日 2020/01/31 13:27:32

ダウンロード 再発行

Copyright © Japan Medical Association. All rights reserved.

[ダウンロード] ボタンをクリックします。

orcaid.txt を開く

次のファイルを開こうとしています:

orcaid.txt

ファイルの種類: 平文テキストドキュメント (85 bytes)
ファイルの場所: https://orcaid.orca.med.or.jp

このファイルをどのように処理するか選んでください

プログラムで開く (O): テキストエディター (既定)

ファイルを保存する (S)

今後この種類のファイルは同様に処理する (A)

キャンセル OK

「ファイルを保存する」を選択し、[OK] ボタンをクリックします。
ファイル名は、orcaid.txt (変更も可) として保存します。

(2) データソースのダウンロード

データソースを取得するためのツールをダウンロードします。

```
$ wget https://ftp.orca.med.or.jp/pub/etc/tools/jma-offline-pkg-v7.tgz
```

(md5: dac1d439c457559056fdcae18d655937 jma-offline-pkg-v7.tgz)

ファイルを解凍します。

```
$ tar xvzf jma-offline-pkg-v7.tgz
```

ディストリビューションに合わせたオプションで処理を行います。

```
$ cd jma-offline-pkg
```

・Ubuntu20.04 focal 5.2.0 の場合

```
$ ./jma-offline-pkg-v7 focal5.2 ../orcaid.txt
```

・Ubuntu18.04 bionic 5.2.0 の場合

```
$ ./jma-offline-pkg-v7 bionic5.2 ../orcaid.txt
```

・Ubuntu18.04 bionic 5.1.0 の場合

```
$ ./jma-offline-pkg-v7 bionic5.1 ../orcaid.txt
```

・Ubuntu16.04 xenial 5.1.0 の場合

```
$ ./jma-offline-pkg-v7 xenial5.1 ../orcaid.txt
```

※上記コマンド例のアクセスキーファイル (orcaid.txt) は、ツールをダウンロードした場所に存在している場合となります。

確認メッセージを表示しますので“Y” (はい) と入力するとダウンロードが始まります。

```
処理を開始します。よろしいですか? (Y/N) : Y
```

スクリプトにより /tmp/jma-cdwork という作業フォルダを作成しダウンロードします。

(3) CD-ROM 等メディアの記録

CD ライティングソフトウェアを使用して、作業フォルダから CD-ROM 等のメディアへ記録を行います。

カレントが pub/ から始まるように注意して記録を行います。

◆CD-ROM 記録の参考

iso イメージファイルの作成

```
$ mkisofs -r -l -J -o /tmp/orcamnt.iso /tmp/jma-cdwork
```

この例では、/tmp フォルダに orcamnt.iso というファイルが作成されます。

CD-ROM へ記録

-dummy オプションを指定して書き込みテストを実行します。

```
$ cdrecord dev=/dev/*** speed=4 -dummy -v -data /tmp/orcamnt.iso
```

dev= オプションには、CD-R/RW ドライブのデバイス名を指定します。

問題なければ実際に書き込みを行います。

```
$ cdrecord dev=/dev/*** speed=4 -v -data /tmp/orcamnt.iso
```

以上で、本システム関係のメンテナンスデータソースが完成しました。

4 セットアップ（環境設定ファイルの編集）

(1) 本システムのメンテナンスのためのセットアップ

apt-line の設定ファイル (/etc/apt/sources.list.d/[設定ファイル]) を編集します。

例えば、CD-ROM のマウントポイントが /cdrom の場合は以下のように設定を行います。

【focal】の場合

```
deb file:/cdrom/pub/ubuntu focal(version) jma
```

(version) 部分は、例えば 5.2.0 ならば 5.2 となります。

```
deb file:/cdrom/pub/ubuntu focal5.2 jma
```

【bionic】の場合

```
deb file:/cdrom/pub/ubuntu bionic(version) jma
```

(version) 部分は、例えば 5.1.0 ならば 5.1 となります。

```
deb file:/cdrom/pub/ubuntu bionic5.1 jma
```

【xenial】の場合

```
deb file:/cdrom/pub/ubuntu xenial(version) jma
```

(version) 部分は、例えば 5.1.0 ならば 5.1 となります。

```
deb file:/cdrom/pub/ubuntu xenial5.1 jma
```

以下は、bionic5.1.0 版を例として jma-receipt-bionic51.list を編集した内容となります。

```
#deb http://ftp.orca.med.or.jp/pub/ubuntu bionic5.1 jma
#deb-src http://ftp.orca.med.or.jp/pub/ubuntu bionic5.1 jma
#deb http://ftp.orca.med.or.jp/pub/ubuntu bionic-common jma
#deb-src http://ftp.orca.med.or.jp/pub/ubuntu bionic-common jma
# ← 設定が有効になっている行をコメントにします
deb file:/cdrom/pub/ubuntu bionic5.1 jma
deb file:/cdrom/pub/ubuntu bionic-common jma
```

次に、Ubuntu Official パッケージのための apt-line 設定ファイル (/etc/apt/sources.list) を編集します。

以下は、bionic を例とした内容となります。

```
#deb cdrom:[Ubuntu 18.04.1 LTS _Bionic Beaver_ - Release amd64 (20180725)]/ bionic main
restricted

# See http://help.ubuntu.com/community/UpgradeNotes for how to upgrade to
# newer versions of the distribution.
#deb http://jp.archive.ubuntu.com/ubuntu/ bionic main restricted
#deb-src http://jp.archive.ubuntu.com/ubuntu/ bionic main restricted
# ← 設定が有効になっている行をコメントにします
## Major bug fix updates produced after the final release of the
## distribution.
#deb http://jp.archive.ubuntu.com/ubuntu/ bionic-updates main restricted
#deb-src http://jp.archive.ubuntu.com/ubuntu/ bionic-updates main restricted
# ← 設定が有効になっている行をコメントにします
## N.B. software from this repository is ENTIRELY UNSUPPORTED by the Ubuntu
~ (以下省略)
```

(2) DB 構造変更、プログラム更新、マスタ更新のためのセットアップ

DB 構造変更、プログラム更新、マスタ更新などメンテナンスを行うための更新データの位置について設定を行います。

/etc/jma-receipt/jma-receipt.conf を編集します。

メンテナンス内容に対する更新データの位置を表す環境変数は以下となります。

DB構造変更 : DBUPGRADEPATH
プログラム更新 : PGUPGRADEPATH
標準マスタ更新 : MSTUPDATEPATH
ライセンスマスタ更新 : DBLICENSEPATH

例えば、更新データの媒体が CD-ROM であり、マウントポイントが /cdrom の場合は以下のように設定を行います。

```
(省略)
#WGETOPTION=--passive-ftp

# file protocol      ↓      ファイルプロトコルを記述する
DBUPGRADEPATH=file:///cdrom/pub/orca_data ← コメント(#)を削除
PGUPGRADEPATH=file:///cdrom/pub/bugfix/ubuntu/amd64/(version) ← コメント(#)を削除
                    (version)には、focal、bionic、xenial の該当するものを指定
MSTUPDATEPATH=file:///cdrom/pub/orca_data ← コメント(#)を削除
DBLICENSEPATH=file:///cdrom/pub/orca_data/license_master ← コメント(#)を削除
                    /license_master を削除します。
```

この他に、更新データの位置が nfs 上にある場合も、そのパスをファイルプロトコル (file://) を使用して記述を行います。

なお、ネットワーク上に ftp サーバまたは http サーバを設置し、それより更新データを取得させる場合は、それぞれ http protocol、ftp protocol の環境変数に対し編集を行います。

(3) プラグインパッケージのためのセットアップ (ver5.0.0 以降)

プラグインパッケージのマウントポイントは、/media になります。

例えば、CD-ROM のマウントポイントが /cdrom の場合はシンボリックリンクを作成します。

```
$ sudo ln -s /cdrom/pub /media/pub
```

次にプラグインの設定ファイル (/etc/jma-receipt/jppinfo.list) を編集します。

```
---
:root: /var/lib/jma-receipt/plugin
:list:
- /media/pub/receipt/plugin/(version)/jplist1-offline.yml
- /media/pub/receipt/plugin/(version)/jplist2-offline.yml
:linkprefix: /usr/local/site-jma-receipt
:verify: true

※(version)には、日レセのバージョン 5.2.0、5.1.0 の該当するものを指定
```

5 更新処理

環境設定ファイルが、本説明書の「4 セットアップ（環境設定ファイルの編集）」で説明した内容になっていることを確認します。

(1) メンテナンスデータソースのマウント

メンテナンスデータソースを CD ディスク装置にセットします。

(2) 本システムのアップグレード（インストール）の実行

```
$ sudo apt update
```

エラーが発生していないことを確認してください。

```
$ sudo apt dist-upgrade
```

パッケージのアップグレード（インストール）が正常終了したことを確認してください。

(3) マスタ更新、プログラム更新処理の実行

本システムのメニュー画面より「プログラム更新」または「マスタ更新」を選択し更新処理を実行します。

※オンライン更新でもオフライン更新でも処理の起動方法は同じです。

(4) プラグインパッケージ更新処理の実行（ver5.0.0以降）

(5) /media ポイントのシンボリック解除（ver5.0.0以降でプラグインの設定した場合）

```
$ sudo rm /media/pub
```

(6) CD-ROM のアンマウント

オフラインメンテナンス説明書

メンテナンスデータソースを CD ディスク装置から取り出します。

以上でオフラインメンテナンスによる更新は完了となります。